

〈書 評〉

Kenneth BW, 他 著
Physical Medicine and Rehabilitation
Essential of Primary Care
監訳 千野直一 (慶応義塾大学)

リハビリテーション・マニュアル 第2版 土肥信之 (藤田学園保健大学)

リハビリテーションにおける治療は大変難しい面がある、というのは対象疾患が幅広く、多方面にわたる知識を必要とする。そのためには運動療法や物理療法の原則を理解した上で各疾患の特徴や自然経過をよく知って診断治療しなければならない。特にリハビリテーションが独立した診療科としての市民権を得つつある現在、診断と治療への適切なガイドが必要とされるのは時代の要請でもある。しかしリハビリテーションに関

する多くの本は幅広い分野をカバーしているため分厚く例え身近にあったとしても、たちどころに疑問に答えてくれるとは限らない。

その点このリハビリテーションマニュアルは大変うまく書かれている。まず、物理療法、運動療法、装具、つづいて体部位別の理学療法が具体的に書かれてあり、親切である。後半は各疾患事の治療が作業療法手段も含めて要領よく書かれている。その内容は順序にこだわらず、日常多く遭遇する問題

から書かれている点がマニュアルの名にふさわしく優れた点である。このような実戦的な書き方は従来の教科書にはほとんど見られない。最近増えつつある心疾患のリハも一章がもうけられている。さらに私たちが常日頃困らせている不動と疼痛の問題がまとめられている。

今、プライマリケアが叫ばれているが、リハビリテーションはプライマリケアの重要な分野である。原題に Essential of Primary Care とあるように内容は常日頃見る疾患、状態、治療の基本的なエッセンスが網羅されており写真も多く、充実している。まさにプライマリケアに必携の実用書であるといえる。

(A 5 変形, 頁 188, ¥3,300, 医学書院 刊)